

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	札幌蒼生会 グループホーム栄町(2階はるかぜ)	評価実施年月日	平成19年10月1日
評価実施構成員氏名	管理者 柴本 美保 介護員 鈴木 あかね 介護員 江戸 志保 介護員 石川 和弥 介護員 種市 匡子 介護員 齊藤 裕子 介護員 佐々木 由香里		
記録者氏名	2階管理者 柴本 美保	記録年月日	平成19年11月10日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>年間行事計画を作成し、理念に基づき年間運営方針を更に具体的な内容への展開を全体会議等で周知しております。</p>	<p>○ 独自の理念を念頭にサービス提供に努めています。</p>
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>理念の根本的考え方について、全職員が理解・周知されており更に日々のケアに反映出来るよう取り組んでおります。</p>	<p>○ ケアに対する意識・考え方が全職員同じ方向性を持って対応出来るよう取り組んでおります。</p>
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>毎月1回ご家族・町内会へ広報誌、お便りを発行し家族会2ヶ月に1度の運営推進会議により情報の共有を行っております。又ボランティア団体に加入し地域交流の機会を得るよう取り組んでおります。</p>	<p>○ 近隣のスーパー、消防、警察等にパンフレットを置かせて貰い地域理解に努め又保育園、小学校等へ訪問し交流が継続して図れるよう取り組んでいます。</p>
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>近隣の保育園、小学校、協会等へお礼のお手紙を出し継続的交流を得られるよう取り組んでおります。又近隣への散歩の際は必ず合った方への挨拶をしたり、ガーデニングをされている方へ声を掛けるなどし交流を持てるよう努めております。</p>	<p>○ 地域へ協力し共に共有出来るような取り組み(ゴミ拾い、花壇作りでの地域共存)等に努めています。</p>
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>区の集い、町内の行事、ラジオ体操等参加出来るよう取り組んでおります。又施設内での行事等への参加依頼を行い多くの交流が図れるよう努めております。</p>	<p>○ 町内での行事、区での集い等で少しでも多く参加し交流を図れるよう情報収集を行い取り組んでいます。</p>
6	<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>地域へ共有出来る事への取り組みを情報収集し取り組んでいます。</p>	<p>○ 地域共存出来る様お互い協力、協調に取り組んでいます。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>自己評価、外部評価実地の意義を理解出来る様、全体会議等で周知した上での、個々の理解度又事業所としての評価をしそれに対する改善策を討議しケアに反映出来るよう取り組んでおります。</p>	○	<p>自己評価の改善策の討議だけではなく、評価内容についての理解への取り組みにも努めていく。</p>
8	<p>○運営推進介護を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>要望、意見はサービスの質の向上に努めるよう取り組んでおります。又色々な視点からの情報収集を活用し地域との連携を図れるよう努めていく。</p>	○	<p>地域共有が図れるような対策。工夫を検討し取り組んでいきます。(町内のゴミ拾い、花壇作り等)</p>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>担当からの情報で区の集い等への参加の依頼を受けて頂き又運営推進会議での情報交換をし区での交流が図れるよう取り組んでおります。</p>	○	<p>市の担当者と情報交換していき色々な区の開催に参加し交流の場を作っていける様取り組んでおります。</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>事業所内の介護支援専門員からの情報提供を頂き(資料等)制度の理解と把握をしていき知識の取得に努めております。</p>	○	<p>資料を参考にし情報共有出来るよう説明し理解・把握をし知識取得に努めております。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>委員会を設置し、全体会議での理解・周知出来るよう勉強会の開催を行い防止に努めている。</p>	○	<p>虐待防止についての勉強会開催で知識取得を行い取り組んでいる。</p>
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約書及び重要事項説明書の中で、入居者・ご家族様へ文章に基づき解りやすく説明をし納得した上で同意を得ております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日常生活状況観察の中で行動、言動、会話中入居者の意見、不満等些細な事でも出来る限り改善して行けるよう、ご家族からの意見も考慮しながら日々のケアに反映出来るよう取り組んでおります。	○	日常生活の活性化を個々が得られ、日々穏やかな楽しい環境作りを心がけ支援しております。
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	月1回の広報誌、個別に毎月の様子を写真とコメントを添え、お小使帳のコピーとレシート又看護師からも個別の健康状態のお便りを同封しております。又職員関係についても広報誌に写真・コメントを添え随時ご紹介も行っております。	○	個別に年間ごと普段の様子、行事、レクリエーション等の写真と日々の活動での個人作品をアルバムにし、家族に記念として持って頂ける様作成に取り組んでおります。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	窓口及び職員は明確であり、運営推進会議・家族会又訪問時ご家族とのコミュニケーションの中から意見・要望を伺いケアに反映出来るよう取り組んでおります。	○	ご家族との信頼関係を築き、小さな事でも意見・要望が気軽に話して頂けるような環境作りに努めております。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	随時必要に応じてスタッフミーティングを行い、情報の伝達、相談、意見等共有していくケアに反映出来るよう取り組んでおります。	○	運営に関する理解、把握が共有でき同じ方向性でケアに反映出来るよう努めていく。
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	緊急時の対応、外出等柔軟に対応出来るよう人員確保に努め、行事、人材確保等必要に応じての調整、相談は随時行うよう努めている。	○	職員の負担と思われるような状況が無く、柔軟な対応ができるように努めている。
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	入居者に影響が出ないよう採用時研修で情報を共有出来るよう個別に十分な説明を行い、信頼関係を築けるよう随時サポートに配慮している。	○	入居者との信頼関係、ケアの指導、助言等をチームケアで取り組み良い人材育成に努めている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	個々で年間の取り組み目標を立て意識の明確化を図り又内・外研修を実施しケアの向上に努めております。	○	年間の個別目標を作成し個々の方向性の明確化又個人への評価、助言等を行い意欲・達成感のある育成に努めている。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	市、区の定例会議の参加又同業者との交流を図り情報交換等行い質の向上に取り組んでおります。	○	他施設との情報交換を取り入れられる機会を作り質の向上に取り組んでいきます。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	定期的に個々の思い、不満、不安等はないかコミュニケーションを図りストレスの回避に努め又時より会食を開き情報交換を図れるよう努めている。	○	不安、不満な思い変化に築き又気軽に相談が出来る環境作りに努めチームケアの確立に取り組んでおります。
22	○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	個人目標の中でケアに対する反映、自己の向上心が得られるように個々の意見等を考慮しながら取り組みが図れるよう努めている。	○	個々の向上心への取り組みを共有し質の向上へ繋げて行けるよう努めていく。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	ご家族、本人、関係機関との十分な情報収集を行い、個々の受け止め方、考え、要望等傾聴、受容に努め、柔軟な対応が出来るよう取り組んでおります。	○	情報収集した事を共有出来るよう周知、討議を行い柔軟な対応が出来るよう取り組んでおります。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	相談、入居時にその都度状況に応じて情報収集を行い、ご家族が納得して頂けるサービスの提供が出来るよう努めている。	○	ご家族の助言、希望等もケアの中で反映し質の良い安心、納得したサービスの提供が図れ信頼関係が築けるよう努める。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご家族、本人の要望、意見、状況、又関係機関からの情報収集を基に考慮、討議を行い対応に努めております。	○	ご家族・本人共に納得の行くサービス提供ができるよう考慮しながら取り組んでおります。
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	情報収集により現状の観察、ご家族の意見を取り入れ又本人の不安も考慮し相談しながら取り組んでおります。	○	安心した環境作りを行い、自然と溶け込めるようサポートしていき納得したサービスの提供ができるよう取り組んでいる。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	コミュニケーションを通じての情報及びご家族から得た情報を基に特性を引き出し日常生活で個々が共有出来るよう努めております。又調理の仕方、風習及び生活の中で培ってきた知恵を会話の中で教わったりする場面作りに努めております。	○	訪問時、行事参加の際に情報交換を行い入居者、ご家族の思いなど気軽に話して頂けるような環境作りに努めております。
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族意見、要望も取り入れながら、ケア反映させお互い情報交換を行いながら共に支えて行く関係作りに努める。	○	お互い一緒に支えて行けるような、関係作りに努めていく。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	お互いの状況、関係を理解しながらご家族と交流が図れる場を設けより良い関係作りができるよう支援している。(行事の参加の呼びかけ)	○	交流の場を設けるような場面設定の配慮、参加の声かけ等に努める。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	出来る限り本人の意見、要望に添った場所を取り入れ支援している。(住んでいた家、買い物等)	○	ご家族、友人が訪ねて気安い環境作りの配慮に努めていく。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	個々の状況把握を考慮しながら入居者同士の理解交流が深められ、自発的な思いやりの行動が取れるよう日常生活、レクリエーション等の中でより良い関係作りがサポート出来るように努めている。	○	共同生活の中でトラブル等ならないよう配慮しながら楽しい環境作りを努めていく。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	関わりが必要とされている状況において傾聴、受容をし随時対応出来るよう取り組んでおります。	○	在宅へ戻られた方からの連絡等で馴染みの職員との談話をされ、その都度傾聴、受容にて対応し取り組んでおります。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者主体の暮らしに希望を取り入れ、本人のペースに合わせたケアに努め出来るだけ本人の意向に添えるよう取り組んでおります。	○	日常会話の中で要望・希望の言葉が出た時は聞き逃さずに意向出来るよう努めていく。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	コミュニケーションを通じての情報又ご家族、他機関からの情報を基に把握に努め可能な限り本人の望む生活を見極め支援出来るよう努めております。	○	色々な場面での習慣などを個々の状況に対応出来る限り取り組んでいく。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	個々の残存能力、機能身体を把握し無理の無いよう色々な状況な状況を見極め支援出来るよう努めております。	○	日々の状況観察、把握をしていき無理のないよう状況の見極めに努め支援している。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	入居者主体の暮らしに残存能力、機能を生かし必要な援助を考慮し本人ご家族の意見を取り入れ必要な関係者と検討し介護計画の作成に努めております。	○	日々日常生活の観察、把握を行い色々な変化に築き入居者本意の介護計画作成に努めていく。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	3ヶ月ごと、更新申請、状態変化を基準に見直しを行っております。又日常生活上の状況変化があった際、随時カンファレンスをしケア見直し、変更を行い個々に添ったサービスの提供に努めております。	○	日々日常生活において、身体、精神面での変化に早期に築き個々に添ったケアの提供に取り組んでいる。
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。	日常生活及び身体、精神面での状況を日中、夜間を通して具体的に記録し、送り目の連絡事項の徹底と個別、全体ノートの活用で確実な情報伝達、共有に取り組んでいます。	○	日々ケアの中での築き、疑問等があった際又介護計画等での共有に全体、個別ノートを活用しケアに反映出来るよう取り組んでいる。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	見学時の説明の際事業所内に併設施設の説明も行い環境の変化をあまり変えず慣れた状態での入居をして頂くような配慮に努めております。	○	生活環境を少しずつ生れて頂く事で精神的負担の軽減にも繋がり馴染みの関係も増え安心に繋がるような支援に取り組んでいます。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察・消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	ボランティア団体に加入し受け入れを行い、日常的な活動支援又活性化の為色々なボランティアの依頼等行っております。緊急時備え年2回消防訓練、救命講習の実施にて迅速な対応ができるよう取り組んでいます。	○	地域住民への理解を深める為広報誌の回覧、又近隣スーパー、郵便局、ホームセンター等への情報提供に取り組んでいく。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	必要に応じて他事情所との情報提供、交換等を行い意向に添えるよう努めていく。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	必要に応じて対応出来るよう連携及び情報交換を行うよう努めている。	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>43 ○かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>週に1度担当NSによる健康チェック又状態の変化、医療、ケアに対する助言、指導、支持をして頂き、早期に対応が出来る。又協力病院との早急な連携も図り対応に努めております。</p>	○	<p>些細な事でも相談し助言、指導を頂き情報交換を行い利用者の健康管理に努めています。</p>
<p>44 ○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>必要に応じて看護師を通じ担当医より指示、助言を頂いております。又他機関では認知症の方でも治療をうけられ対応できる所を探し支援に努めております。</p>	○	<p>色々な情報を元に利用者が納得され治療がスムーズに提供出来る様に努めている。</p>
<p>45 ○看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>週一回の健康管理、24時間、365日のオンコール体制を確保。又利用者の理解に努め些細な事でも気軽に相談が出来、随時連携が取れる状況で支援しております。</p>	○	<p>医療側での情報提供、疾患に対する早期発見、対処法を学び緊急時に早期な対応が出来る様取り組んでいる。</p>
<p>46 ○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>病院への情報提供又早期退院に向けての情報交換を随時病院、NS、ご家族、管理者で行なうよう連携に努めております。</p>	○	<p>入院後早期退院がスムーズに出来よう又ご家族の不安、負担が軽減されるよう各機関、ご家族との連携を随時行なっていくよう努める。</p>
<p>47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>重度化に向けての看取りのあり方について医療側、介護側としての独自の取り組みについて研修を行い取り組んでおります。</p>	○	<p>ご家族、Drを交えての協力、協調できるような体制確保に努めていく。</p>
<p>48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>看取りについての考え、意向を検討し利用者、ご家族にとって安心出来る環境、支援を見極め取り組みの準備をしている段階です。</p>	○	<p>医療、看護、ご家族が密に連携し協力出来る体制の確保により利用者の安心、安楽な環境の整備が出来る様に取り組んでいく。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	事前面接、情報提供書等により情報収集を行い、暫定プランを作成しカンファレンスを行い情報の共有を行なった上で受け入れ時体制につめる。	○	利用者に対して負担軽減が少ないように配慮していく様努める。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	人としてプライバシーを配慮し個々に合わせた言葉かけ、対応を考慮しながら支援するよう努めております。又記録等処分する祭個人情報となる物は必ずシュレッターにて対応しております。	○	ゆっくりと穏やかな声掛けで話掛けるよう心がけ又入居者の話しは傾聴し納得のいくまで聞くよう努めている。
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	個々に解りやすく説明しながら考え、思い、希望等を引き出し意向に添えるよう努め納得が得られるよう支援しております。	○	本人の意向を引き出し、意向に添った生活支援の提供が出来るよう努める。
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	個々の意思、意向及びペースを尊重した支援に努めております。	○	個々の生活スタイルを尊重した安らぎのある自由な環境作りに努める。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	希望時に本人に状況に合わせて訪問里美容を理容して頂いたり又近隣の里美容を利用して外出の機会を設け気分転換が図れる様努めている。	○	本人の希望、意向に添って対応出来るよう支援していく。
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしているか。	個々の嗜好を把握し調理の工夫等も行い、利用者の状況に合わせて一緒に調理、準備、片付けを行なう事で個々の役割として自発的な行動、意欲が持てるよう支援しております。	○	自発的な行動を低下させないよう状況を配慮し工夫しながら意欲的支援に取り組んでいる。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	週1回以上の外出の支援を行い買い物の際は本人の希望などが無いか配慮をした、対応に心がけ日常生活の活性化に努める。	○	健康、精神面等、個々の状況把握を行い継続的に支援する事により楽しみ、満足感等得られるよう取り組んでいる。
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	入居者の排泄パターンを把握し個々に応じたトイレの声掛け誘導を行なっている。又なるべく下剤等全て頼らず、乳製品、水分、適度な運動を心がけスムーズに排泄が促されるよう随時看護師と検討を行ないながらの下剤調整も行い取り組んでおります。	○	状況把握を行ない個々に合ったコントロールを随時検討し継続していく事で、失禁、自発的な排泄が促されるように支援している。
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入浴前のバイタルチェックを考慮しながら、その日の体調、状況に合わせて本人の希望を尊重し又リラックス出来る様取り組んでおります。	○	希望や意向に添って夜間入浴又入浴前のリラックスを図れる様足浴等に取り組んでいく。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	入居者の入眠状況を把握し、日中は散歩、買い物、レクリエーションの参加を促し、夜間眠れない方には、ホットミルク等を飲用又不安を取り除ける話しをしたり傾聴、気分の安定に配慮出来る様努めております。	○	日常生活の活性化を行なう事で、夜間の安眠を促して行けるよう努め又本人の希望、意向に添って安心して睡眠、休息が図れる様取り組んでいく。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	個々の残存能力、機能を把握し、日常生活の中で意欲を引き出し自発的な行動の中で楽しみながら行い自信に繋がるよう取り組んでおります。	○	アクティビティーケアの中から個々に合わせた環境作り及び残存機能を活かし無理なく活動への参加を配慮を行い機能低下の防止に努める。
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	自己管理が出来ない方においては事務所にてお預かりをし、自己払いが可能な方には外出時本人に渡したり、会計時に支払いの支援に努めている。	○	個々の状況を考慮しながら支払いは本人が不安なく行なえるよう支援する。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	週1回以上の外出の機会を得られる様、個々の外出頻度、行った場所の把握をし又(買い物、散歩、近隣施設、公園等)利用者の活性化に繋げられるよう取り組んでおります。	○	冬期間の外出先の工夫、検討を随時行い楽しめる場所の提供に努める。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段はいけないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	年間行事の中でご家族との交流を深められるよう企画しており、又地域参加、交流等も行える様よう考慮し、日常の中で場所の希望等で実際は意向に添えるように取り組んでおります。	○	個々のADL、希望、要望等に配慮し意向に添えるよう支援している。(以前住んでいた家、場所など)
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	希望に応じて電話を利用することができ、内容等が他へ洩れることの無いように居室での利用に配慮しております。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	訪問者の方が居心地良くゆっくりと入居者と過ごして頂けるよう雰囲気作りに心がけております。(居室で一緒にコーヒー、紅茶等飲用して頂く)	○	ご家族や馴染みの方が気軽に訪問して下さる様な雰囲気作りに努める。
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	内部研修において説明周知を行っております。又日常生活において言葉、言動等制限の無いように努めております。	○	本人の状況把握、理解の分析を行い安全、安心した環境作りの確保に努めております。
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	防犯対策の為1階玄関には鍵がかかっているが、常時内側からの開閉は可能になっております。又ユニット玄関(EV)も自由に出入りが出来るようになっております。	○	利用者の居場所の状況把握に努め自由に安心して過ごせる環境作りに取り組んでいる。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	入居者の状況、動き等把握、目配りが出きるような職員の配置に心がけ安全確保に努めております。	○	常に入居者の動き、サイン等に察知でき安全確保がされるようチームケアで取り組んでいる。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	刃物、洗剤、薬等は安全面に配慮し目の届かない所へ保管しております。又日々の状況間観察にて危険と思われる状況が発見された際は随時検討し対処を行い早急な安全確保に取り組んでおります。	○	日常生活の行動の観察を行い随時危険と思われる小さな事でも見逃さず早急な対応が出きるよう取り組む。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	年間の事故報告、ヒヤリハットの集計、分析を行い原因、要因を内部研修にて周知し事故防止に努めている。救命講習、防災訓練も年2回の実施を行い緊急時の対応に努めております。	○	年間の事故報告、ヒヤリハットの集計、分析を行う事で事故の原因、要因を明確にしケアに反映し事故防止に努める。
70 ○急変や自己発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	年2回内、外研修を実施し緊急時の対応が早急に出きるよう取り組んでおります。	○	緊急時の対応又早期発見の為疾患、対処法への取得に取り組んでいます。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	緊急マニュアル等もあり、年2回防災訓練にて周知しております。	○	運営推進会議にて災害時の対策について地域の協力が得られるように働きかけに取り組んでいる。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	入居前にホーム内でのリスク等の説明をし理解、同意されており又随時状況変化時支援の説明を行い理解、同意をして頂きながら、その時々に応じたケアの対策、工夫を考慮しながら取り組んでおります。	○	入居者の状況変化に応じての日常生活支援に対するリスクも踏まえたご家族への説明、理解、同意の上ケアの遂行に取り組む。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日のバイタルチェックのほか、日々の表情、食欲、行動、排泄等の日常生活の観察を行い、些細な変化でも情報の共有ができるよう連絡ノート、申し送り、NSへの確認、指示を仰ぎ早期発見、対応ができるよう努めております。	○	週1回NSによる健康チェックと職員との情報交換の共有又月2回の往診、年2回の健やか検診等で早期発見し対応が遅れることの無いよう日々の観察にて変化に気づけるよう取り組んでいる。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	処方箋の指示を参考に内容、目的、副作用等の把握、理解をし日々の状況観察を行い特変時はNSへ報告を行いDrより指示を仰いでおります。又服薬ミスが無いよう服薬時の確認の工夫、残薬管理の徹底を行い認識を持って支援に取り組んでおります。	○	薬の状況把握、理解に努め確実、安全に服薬出きるよう個々の認識を持ち取り組んでいる。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かさず働きかけに取り組んでいる。	排便のリズム、状態等(量、形状)把握し機能低下等も考慮しながら乳製品、適度な運動、水分量の調整、食物繊維等配慮しながら、スムーズな排便のコントロールに努めております。	○	機能低下の防止に努め日常の工夫の中で下剤等も調整しながら無理の無いようスムーズな排泄が促されるようコントロールに努める。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	起床、就寝、毎食後の口腔ケアの声かけ、見守り、一部介助(仕上げ磨き、歯冠ブラシ使用)により口腔内の清潔保持に努めている。又必要に応じて訪問歯科による治療、指導、助言等も頂き状態に応じた支援に努めている。	○	おいしく摂取して頂くよう又誤炎症性肺炎防止の為口腔内の清潔保持、顎の筋力低下防止を図る為の口腔体操にも取り組んでいる。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養士によるカロリー、栄養のバランスを考慮した献立が作られている。又毎日の摂取状況量、水分量のチェックを記録し状況の変化にすぐや対応出来るよう状況把握に努めております。	○	本人のペース、時間、状況に配慮し自力で摂取が促されるよう支援している。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染マニュアルにより知識の取得及び必要に応じてNSからの予防、注意事項の指導、助言があり、うがい、手洗い、共同部分の消毒の徹底に努めております。インフルエンザの施行もご家族同意の上、毎年実施し予防に努めております。	○	日頃より感染予防に対する認識、対策等、知識取得をしている事で、早期対応により予防、感染防止に取り組んでいる。
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	毎日使用する物品は消毒を行い衛生管理の徹底に心がけ、食品の鮮度を保つ為保存方法又冷蔵庫内の温度管理の徹底に努めています。	○	衛生管理の徹底を行い、食材への鮮度、保管時の温度管理の徹底に努め安全で新鮮な食材の提供に努める。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)	
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>玄関周りの整備を行い、解りやすい入り口の看板を作成し気軽に尋ねて来れるような暖かい雰囲気作りを工夫していくよう努める。</p>	○	<p>花壇等の整備を行い早急な看板への着手をし地域住民への理解を得るよう努める。</p>
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>暖かみのある家庭的な雰囲気を工夫したり季節感に配慮した飾りつけ(ひな壇、短冊、クリスマスツリー等)を行ったり安心、安全、快適な空間で暮らして行けるように環境の整備の配慮に取り組んでおります。</p>	○	<p>居心地の良い空間作りの工夫、配慮に取り組んでいく。</p>
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共有部分にソファ・椅子を増やし、途中で休む場所を設け、どこでも好きな場所での談話、休憩が取れるよう配慮、工夫に取り組んでおります。</p>	○	<p>個々の居場所、自由に思いの場所へ行かれ過ごせるよう配慮していく。</p>
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>自室には以前より使い慣れた家具、生活用品など自由に持ち込み個々の環境作りに配慮しております。</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>常時、温度、湿度に気を配り乾燥時は加湿器、濡れタオル等をかけドライアイ、肌の乾燥等に配慮しております。又毎日の換気を行い快適な生活環境の配慮に心がけて取り組んでおります。</p>	○	<p>常時、温度、湿度、臭いがこもらないように換気を心がけ、又個々状況により調節を行うように努める。</p>
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>廊下、トイレ、浴室、玄関等手すりを備えており又浴室には滑り止めマットの使用をし見守り、安全面の配慮に努めております。日常生活の観察の中で危険と思われる状況を回避し安全、安心した生活空間の整備に取り組んでおります。</p>	○	<p>個々の身体状況の観察、把握を行い状況に応じての安全面での対応策に取り組んでいる。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>個々の残存能力、機能の把握を行い無理の無いよう個々のニーズに合わせ見守り、声かけ、統一したケアを行う事で混乱防止に努めております。</p>	<p>○</p>	<p>個々の身体、精神状況の観察により意欲的な生活環境の配慮に努める。</p>
<p>87</p> <p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>中庭での園芸、外気浴などを行ったり又ベランダにもプランター等で花を植えたり、入居者の持参した鉢植え等共同部分に置き水やり、育て方など入居者に聞きながら一緒に取り組んでおります。</p>	<p>○</p>	<p>入居者が以前より育てていた鉢植えを持参して頂き共同スペースにて水やり、育て方など相談しながら一緒に取り組んでいる。</p>

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない</p> <p>① 個々の生活スタイルを尊重し考え、思い、意向を酌み取り満足が得られるよう取り組んでおります。</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない</p> <p>① ティータイム、おやつ、外出へ一緒に数名と出かけた際好きな歌や昔やっていた事又ご家族の事など話を傾聴しゆっくりした時間を得られるよう心がけております。</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない</p> <p>① 個々の生活スタイル等、状況の理解、対応に努め柔軟な支援が図れるよう取り組んでおります。</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<p>① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない</p> <p>① 喜怒哀楽のある自由な生活が送れるよう労い、励ましの声かけ対応に取り組み又個々にあったケアを取り入れる事で自信、達成感が得られるよう取り組んでおります。</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない</p> <p>① 個々の希望に応じての買い物、外出の支援を行い又日常の会話の中で出た希望、要望も聞き入れて柔軟に対応出来るよう努めております。</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない</p> <p>① 個々の訴えによりNS、Dr等へ連絡を行い早急な対応を行い又状況により希望の病院への受診の対応し安心出来るよう努めております。</p>
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<p>① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない</p> <p>① 日々の状況把握により、個々の行動又要望に応じて本人のニーズに合った対応を柔軟な支援、統一したケアを行う事で安心して過ごして頂くよう取り組んでおります。</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない</p> <p>① 訪問、行事参加、家族会、運営推進会議等でご意見、要望などを聞きケアに取り入れ又ケアプラン説明時にも意見、希望などもお聞きしケアに反映出来るよう取り組んでおります。</p>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない</p> <p>③ 協会、中学校の方又定期的に話し相手のボランティア(同じ方)の方が訪問されており、今後も継続し取り組んでいけるよう努めていく。</p>

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p> <p>② ボランティア等、行事への参加で協力を得る方が増えて来たが、今後も少しずつ地域の繋がりを増やして行きお互いを理解、協調し合い得る関係作りに取り組んでいく。</p>
98	職員は、生き生きと働いている	<p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>① 個々の入居者の立場に立ち思いを追求、尊重し受け止め、質の良いサービスの提供ができるよう努め、一緒に楽しく接し取り組んでいる。</p>
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>① アクティビティーケアの中から個々に合わせた環境作り及び残存機能を活かし無理無く取り組める活動へ楽しく参加されるよう配慮しております。</p>
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>① ご家族訪問時、積極的な声かけを行い普段の様子等伝え情報交換を行い又ご意見、ご要望も伺いケアに反映し取り組み良いサービスの提供ができ、信頼関係が築けるよう努めております。</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)